

また 非常に尊い仕事ではありますが、施設では人材不足で 職員に負担を強い
ることになっております。いずれ誰もが齢を取り 介護問題は『輪廻』とは思わ
れますが、高齢者が超高齢者を介護することは体力的・精神的にも難しくなります。
職員には、介護している人を“**自分の両親と思い また 身内や恋人と思い 介護
をする**”と言った **心の通った介護 心の籠った看護**を施設理念としております
が、介護ロボット・補助器具を使用しても、少子高齢化が進む社会。いくら長寿を
重んじるといった 儒教精神を貫いても 体力的に無理難題が のしかかってきます。

若い時より定期検診等を受診して、早期発見・早期治療を行い 自分自身の健康
管理に気をつけ 日頃から体力をつけ **健康寿命を伸ばし 健康で長生きできる
社会を目指す事が大切**です。本日の講演会が 意義のあるものとして 役立ってて
もらいたいものとおもいで拝聴しました。



優良介護職員表彰



・・・こころ温まる介護を高く評価・・・

施設サービス課 大川一彦

11月20日 あかし市民広場で 第7回 明石市保健福祉施設協会主催の「介護
の日」記念式典が開催されました。優良介護職員表彰において田中 大輔ケアワ
ーカーが受賞者を代表して登壇し 小松 達也会長より 受賞されました。長年、施
設サービス課で要介護高齢者に心のこもった介護を行ってきたことが評価 され、
応援に駆け付けた当施設関係者や利用者家族とともに、深く感謝しました。

記念講演会では、西川ヘレン氏による「大家族 支え愛
見守り愛 励まし愛」という演題で講演会が行われ、170名
の聴講者が集まりました。会場は、その巧みな話術と家族愛
溢れる介護体験談に、笑ったり感動したりと、大変な盛況ぶ
りでした。

今後も明石市保健福祉施設協会への参画を通じて、より良
い介護社会の実現に寄与していきたいと強く感じました。



裏を見せ 面を見せて 散る議員

自民党 襖の水で 風邪をひき

天高し 一票投じ したり顔

令和6年 衆院選